

ペアハッチ

子牛を2頭で飼うことのメリット

トータルハードカーフサービスでの研究



牛は本来群れで生活する動物です。群れでの生活は肉食獣から身を守る以外に、牛同志の競合や交流による学習の機会をもたらします。

近年カナダのブリティッシュコロンビア大学の研究チームが複数頭飼育された哺乳子牛のほうが個別飼育された子牛に比べ成長速度が速いと報告しており、更には子牛の認知能力も高くなるという興味深い報告もしています。これらの効果は最少グループである「ペア」でも十分に得ることができるとしています。これらの研究を受けて、カーフサービスで

もペアハッチと個別飼育の子牛との成長の違いを比較検討してみました。

ペアハッチ子牛の成長は個別飼育の子牛よりも優れていました。右図はその結果です。60日間での増体倍率(生時体重の何倍になったか)と日増体量において、個別飼育よりも高い数値となりました。この成長の速さは**スターターの食い上がり**にポイントがありそうです。いい意味での競合関係によってスターターに興味をそそられるのでしょう。右のグラフからも個別飼育に比べて食い上がりが早いことが分かります。

また飼育している感覚としても、ペアの子牛は活動的でかつ落ち着きがあり、瞳の輝きや顔つきが良い感じがします。多くの場合お互いの顔が見えるような位置関係で休息しており、牛同志の安心感(?)があるように見えました。

疾病の発生はペアの方が減少傾向にはありましたが統計学的な有意差はありませんでした。ここで考えてみてください。我々はどのようにして子牛を1頭ずつ飼う

ようになったのでしょうか?「病気の伝搬リスクを抑える」というのが大前提にあったはずですが。しかしペアでも疾病の発生は変わらなかったのです。つまり我々はもう子牛を個別飼育する理由は無いのでは?

今回の成果を得てカーフサービスでは今後もペアハッチ飼育をおこなっていくつもりです。

